

2023年度（第7期）事業報告書

2022/10 – 2023/09

一般財団法人 エコロジカル・デモクラシー財団

**ECOLOGICAL
DEMOCRACY
FOUNDATION**



目次

- (1) 2023年度（前年度・第7期）の事業枠組み・p.3
- (2) 2023年度（前年度・第7期）の実施体制・・・p.7
- (3) 第7期の事業達成度と成果・・・・・・・・・・p.9
- (4) 前年度・第7期の予算と実績・・・・・・・・・・p.11
- (5) 各活動の振返り・・・・・・・・・・p.12

(1) 2023年度（前年度・第7期）の事業枠組み

財団の全体像およびゴールへの事業位置付けの整理

第7期ではパンデミック下で提示した活動方針、原則を引き継ぎ、「場所に根付くように働きかけること」を加えながらミッション・スローガンを検討

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のビジョン

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

エコデモ財団のミッション（次年度の活動方針・原則をもとに検討）

働く場、暮らす場、学ぶ場での様々な日常に、自然と社会の共存する目指すべき未来のタネを発見し、育くむ。具体的には、4事業分野において、これまでに開発してきた仕組みやツールを用い、人々の価値観に語りかけ、行動を提案する。

特別スローガン：（次年度の活動方針・原則をもとに検討）

ミッションのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(CSV)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

市民活動の経験に学び、市民と共にエコデモの視点から活動の価値を再定置し、新たな協働のタネを発見する。

<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(1) 2024年度（今年度・第8期）の事業枠組み

財団の全体像およびゴールへの事業位置付けの整理

- ・ パンデミック以降に検討・設定してきた「活動方針・原則」を次期でも引き継ぐ
- ・ 上記に基づきながら、次年度の「ミッション」「スローガン」の刷新を検討する

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のビジョン

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

パンデミック以降の活動方針・原則をもとに再検討

エコデモ財団のミッション

働く場、暮らす場、学ぶ場での様々な日常に、自然と社会の共存する目指すべき未来のタネを発見し、育くむ。具体的には、4事業分野において、これまでに開発してきた仕組みやツールを用い、人々の価値観に語りかけ、行動を提案する。

特別スローガン：

ミッションのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(CSV)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

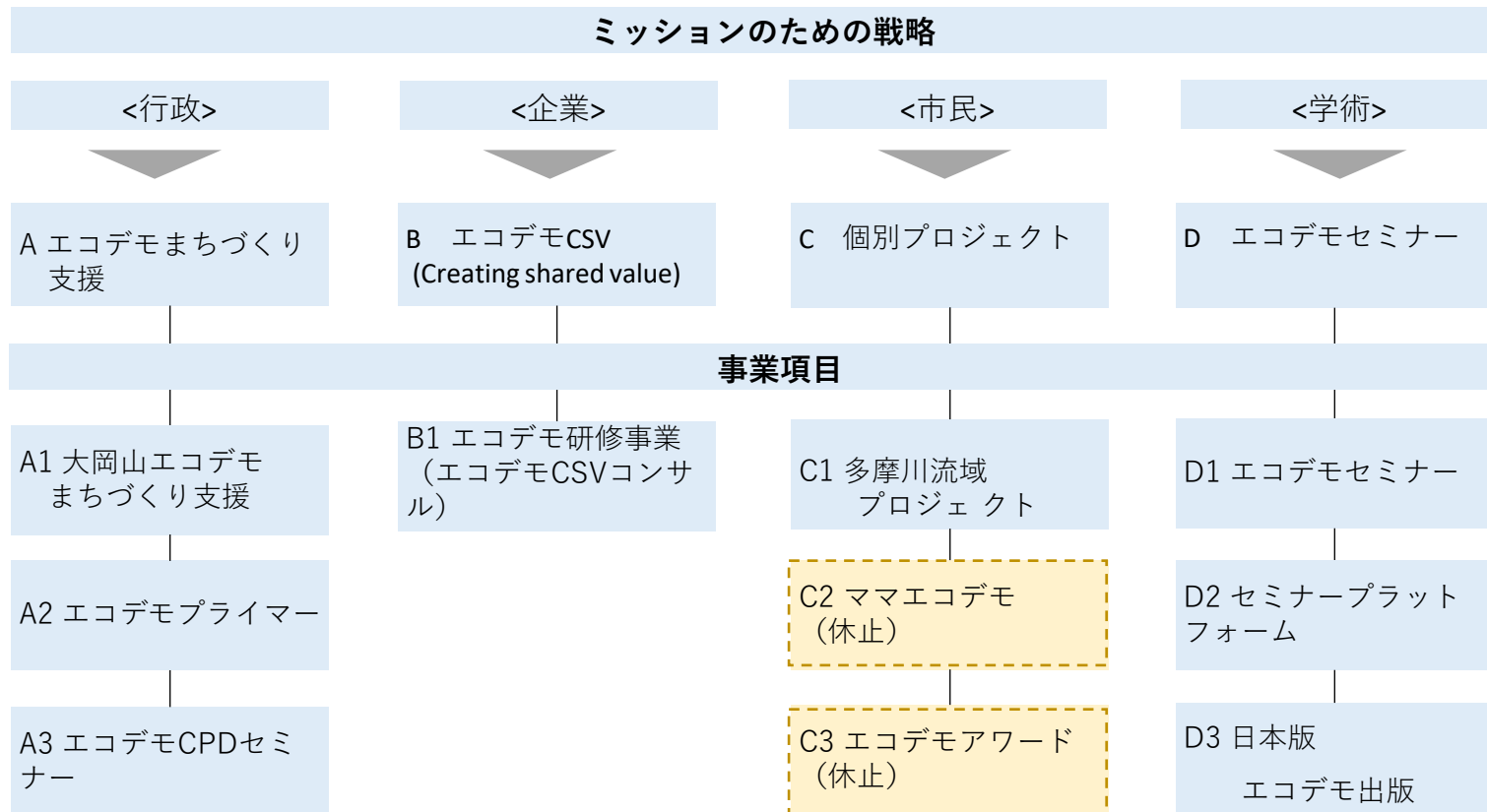
市民活動の経験に学び、市民と共にエコデモの視点から活動の価値を再定置し、新たな協働のタネを発見する。

<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(1) 2023年度（前年度・第7期）の事業枠組み

- ・ 個別プロジェクトは事業に注力できない状況が続いているため休止
（休止）C2ママエコデモ、C3エコデモアワード
- ・ 財団の重要なエコデモセミナーの資源を活用するためセミナー事業を拡充
D2) セミナープラットフォーム（ラジオ、同窓会、HPバージョンアップ）



(1) 2024年度（今年度・第8期）の事業枠組み

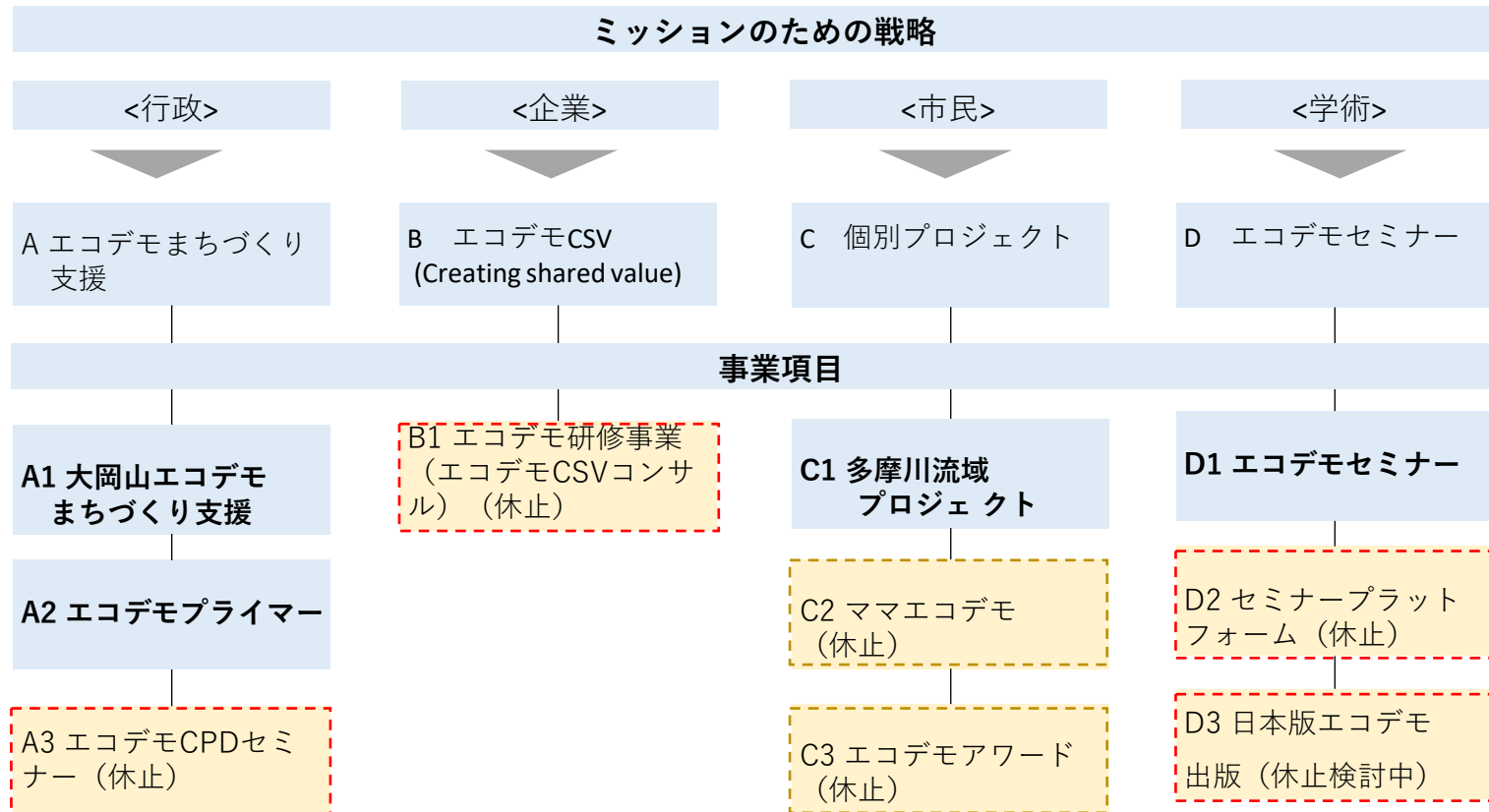
4つの対象（行政、企業、市民、学術）に対する事業の整理

・事業の優先順位を決め、注力できない事業は一時休止。

(注力) A2エコデモプライマー (D3日本版エコデモ出版は休止検討中)

A1エコデモまちづくり支援 (大岡山)、C1個別プロジェクト (多摩川)、D1エコデモセミナー

(休止) A3エコデモCPDセミナー、B1エコデモ研修事業、D2セミナープラットフォーム、D3日本版エコデモ出版



(2) 2023年度（前年度・第7期）の実施体制

- ・ 評議員3名、監事1名
- ・ 理事7名、アドバイザー4名
- 理事2名（丸谷、山本）選任、5名（土肥、土屋、清野、柴田、土井）重任

全体統括：●土肥真人

中・長期展開ビジョン

●土肥真人 ●土屋陽子 ●清野隆 ●柴田久 ●土井良浩
●丸谷耕太 ●山本真紗子 ◇杉田早苗

<p><行政> A) エコデモまちづくり支援</p>	<p><企業> B) エコデモCSV</p>	<p><市民> C) 個別プロジェクト</p>	<p><学術> D) エコデモセミナー</p>
<p>A1)大岡山エコデモ まちづくり支援 ◇杉田早苗 ◇中西正彦</p> <p>A2)エコデモプライマー ●柴田久 ●土井良浩 ●丸谷耕太 ◇杉田早苗 ◇中西正彦 ◇坂村圭</p>	<p>◇吉田祐記 ●山本真紗子 ●土屋陽子</p>	<p>◇吉田祐記 ●土屋陽子</p>	<p>●清野隆 ●山本真紗子</p>

助成金申請担当：◇谷内田絢子

サポーター：エコデモ財団発起人235名（2022年6月23日現在）

凡例 ●エコデモ財団理事、◇事務局・アドバイザー（敬称略）

(2) 2024年度（今年度・第8期）の実施体制

- ・ 評議員3名、監事1名、理事7名：
 - 財団の活動継続（月1度の会議参加等）が難しい方にはアドバイザーとして参画いただく
- ・ アドバイザー6名（新規就任2名）：
 - 大森文彦さん、木場佳音さん（大岡山エコデモまちづくり支援）

全体統括：●土肥真人			
中・長期展開ビジョン ●土肥真人 ●土屋陽子 ●清野隆 ●柴田久 ●土井良浩 ●丸谷耕太 ●山本真紗子 ◇杉田早苗			
<行政> A) エコデモまちづくり支援	<企業> B) エコデモCSV	<市民> C) 個別プロジェクト	<学術> D) エコデモセミナー
A1)大岡山エコデモ まちづくり支援 ◇杉田早苗 ◇中西正彦 ◇大森先生 ◇木場佳音 A2)エコデモプライマー ●柴田久 ●土井良浩 ●丸谷耕太 ◇杉田早苗 ◇中西正彦 ◇坂村圭	(休止)	◇吉田祐記 (●土屋陽子)	●清野隆 ●山本真紗子
助成金申請担当：◇谷内田絢子			
サポーター：エコデモ財団発起人239名（2023年5月8日現在）			

凡例 ●エコデモ財団理事7名、◇事務局1名・アドバイザー6名（敬称略）

(3) 第7期の事業の達成度、成果、次年度の目標と活動内容

事業項目	2023年度7期目標	2023年度活動内容	達成度	成果	2024年度8期目標	2024年度活動内容
A1 大岡山	・大岡山のまちでのエコデモ実践活動	・ビジョンを達成するためのアクションプラン（協議会の取組等）を策定 ・ビジョン、アクションプランへの意見収集（自治会・町会・商店会など） ・定例会の運営	・まちづくり憲章の提示、アクションプランの発表 ・協議会ホームページにてアクションプランへのボランティア募集、会議実施	・まちづくり協議会事業継続 ・アクションプラン実施 ・協議会ホームページ更新	・大岡山のまちでのエコデモ実践活動 ・呑川流域まちづくりの実践 ・「聖性に住む」研究	・運営支援（定例会の運営、活動報告書の作成） ・アクションプランの周知、ボランティア募集、意見収集 ・その他：呑川流域まちづくりの実施と「聖性に住む」研究、トヨタ財団申請・「個人の庭」の手入れを通じたコミュニティづくりに向けて」2024年4-6月申請、採択7-8月、活動期間2024年11月～2年間、200万/年)
A2 プライマー	・エコデモプライマーの要点抽出	・大岡山の事例に基づくまちづくり支援の要点抽出の検討会議（2回、11月・3月） ・要点のとりまとめ	・財団・内部検討会の実施（1月～5月、土井・天野・清野・吉田・事例検討） ・要点のとりまとめ	・内部検討会の実施 ・プライマー・日本版エコデモ検討体制の検討	・エコデモプライマーの概要完成	・プライマー・日本版エコデモ作成の体制づくり ・上記作成の目的・ターゲット・対象の設定 ・プライマーの骨子確定 ・出版社の検討
A3 CPD セミナー	・技術者、専門家を対象にエコデモの実践手法の認知を広める	・土木・建築・計画分野の技術者、専門家向けセミナーの実施（全2回、各回70名参加を目標） （・ゲスト講師プロジェクトの現地視察、レポート配信を検討）	・セミナー実施（ゲスト講師プロジェクトの現地視察、レポート配信）未達	—	（休止）	—
B1 研修事業	・企業の新規事業プロトタイプ実践研修 ・第3期の実Maxcom	・これまでの研修成果を基に下記研修を実施 ①人材育成（個人の考える力・意志の向上）②新規事業のプロトタイプ実践サポート	・研修事業の継続（第3期）未達	—	休止	—

達成度については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(3) 第7期の事業の達成度、成果、次年度の目標と活動内容

事業項目	2023年度7期目標	2023年度活動内容	達成度	成果	2024年度8期目標	2024年度活動内容
C1 多摩川流域PJ	・個別の課題（世代交代など）を流域全体の課題として位置づけ、各課題に対して流域全体のリソースを活用する	①水辺の課題・資源の整理と流域全体への再設定 ②水辺の知恵・リソースを交換する機会の創出（干潟交流企画、オンラインシンポ） ③多摩川流域の活動情報発信（HP活用）	①水辺の課題整理→川ごみの設定 ②交流企画、水辺会議の実施 ③HP、SNSを通じての活動発信 ・多摩川合宿	・水辺会議の定例化 ・協力主体・団体の拡充	・「川ごみ」をテーマとしたネットワークづくり	水辺の会議（オフシーズンに2回/年開催）により下記実施 ①「川ごみ」課題を流域全体課題として位置付け ②水辺の知恵・リソース交換、試行プロジェクト企画実践 ③多摩川流域のネットワーキング、HP活用 ・東急財団助成申請：2023年10月申請、120万/年、期間2024年4月から3年間
D1 セミナー	・エコデモセミナーの継続（8期10名で実施予定）	・エコデモセミナー8期 2023年5-10月実施	・8期の実施	・第8期・8名の参加者、修了者●名	・9期10名で実施予定	・エコデモセミナーの継続（9期10名で実施を目標） ・エコデモプライマー・日本版エコデモ出版事業へのセミナー関係者の巻き込み・コラボ
D2 プラットフォーム	・セミナー生とのネットワーク強化 ・セミナー生の交流や議論プラットフォーム構築	●エコデモラジオ ・過去セミナー生を迎えエコデモを語る（全12回） ●セミナー同窓会 ・1~6期セミナー生が再び会する機会（全6回） ●HPバージョンアップ	・エコデモラジオ ・セミナー同窓会（ランディ） ・HPバージョンアップ ・東京シンポジウム（パシリム）	・ランディ来日をきっかけとしたセミナー会議、東京シンポジウムの実施	休止	—
D3 出版	・日本版エコデモ本出版に向けた編集会議の立ち上げ ・同書籍の構成など詳細決定	・執筆者の募集と編集会議の開催 ・テーマを設定して原稿を募集。出版に向けた編著者の会議や議論。	・編集会議の開催、テーマ設定（未達）	—	休止（エコデモプライマーと合わせて検討）	—

達成度については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(4) 2023年度予算と実績

2023年度予算

損益	事業分類	事業A：エコデモまちづくり支援							事業B：エコデモCSV ①エコデモ研修	事業C：個別プロジェクト			事業D：エコデモセミナー				※助成金申請 総額：1,000千円		4事業合計	管理費	総計
		①コンサル業務		②プライマー作成		③CPDセミナー		合計(一般)		①多摩川PJ	合計(一般)	①セミナー	②学術交流	③出版	合計(一般)	一般会計	収益事業				
		一般会計	助成金(申請)	一般会計	助成金(申請)	一般会計	助成金(申請)											助成金申請含む			事業収益
収益		550	0	0	0	170	0	720	2,000	0	1,000	1,000	660	0	0	660	2,380	2,000	4,380	—	4,380
支出		400	0	40	0	80	0	520	1,150	0	1,500	1,500	20	310	110	440	2,460	1,150	3,610	520	4,130
収益－支出		150	0	-40	0	90	0	200	850	0	-500	-500	640	-310	-110	220	-80	850	770	-520	250

2023年度実績

(単位：千円)

損益	事業分類	事業A：エコデモまちづくり支援							事業B：エコデモCSV ①エコデモ研修	事業C：個別プロジェクト			事業D：エコデモセミナー				※助成金採択なし		4事業合計	管理費	総計
		①コンサル業務		②プライマー作成		③CPDセミナー		合計(一般)		①多摩川PJ	合計(一般)	①セミナー	②PF事業	③出版	合計	一般会計	収益事業				
		一般会計	助成金	一般会計	助成金	一般会計	助成金											※助成金なし			収益事業
収益		525	0	0	0	0	0	525	0	0	0	0	528	164	125	817	1,277	65	1,342	0	1,342
支出		100	0	0	0	0	0	100	0	495	0	495	30	62	103	195	688	103	791	393	1,158
収益－支出		425	0	0	0	0	0	425	0	-495	0	-495	498	102	21	622	590	-39	551	-393	184

※本販売64800は収益事業、
原稿料60000は一般会計

※管理費332950＋一般管理費60000(アルバイト代)

(5) 各事業の振返り A1エコデモまちづくり支援 A2エコデモプライマー

A1エコデモまちづくり支援

2022年度 7期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山のまちでのエコデモ実践活動 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり憲章の提示、アクションプランの発表 ・協議会ホームページにてアクションプランへのボランティア募集、会議実施
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンを達成するためのアクションプラン（協議会の取組等）を策定 ・ビジョン、アクションプランへの意見収集（自治会・町会・商店会など） ・定例会の運営 	2023年度 7期成果と 振り返り	<p>大岡山・千束まちづくり協議会でのエコデモ実践活動では、エコデモの実践活動の方向性を明確化した大岡山・千束地区のまちづくり「ビジョン」「憲章」「アクションプラン」を作成し、冊子やまちづくりニュース、HP等で周知するとともに、アクションプランに関するボランティア募集・会議の実施等、その実践活動を具体化してきた。</p> <p>次年度もまちづくり協議会との実践活動を継続させながら、呑川流域まちづくりの実施や「聖性に住む」研究も進めていく。</p> <p>参考：大岡山・千束地区まちづくり協議会HP https://ookayama.wixsite.com/home</p>

A2エコデモプライマー

2023年度 7期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモプライマーの素案作成 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・財団・内部検討会の実施（1月～5月、土井・天野・清野・吉田・事例検討） ・要点のとりまとめ
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山の事例に基づくまちづくり支援の要点抽出の検討会議（2回、11月・3月） ・要点のとりまとめ 	2023年度 7期成果と 振り返り	<p>エコデモプライマー作成に向けて、財団内部での検討会を下記の通り実施。エコデモの視点から事例を読み解き、計画やデザインの重要な原則や要素を全員で検討してきた(現地の見方、ビジョンやゴールの設定方法、プロセスの要点など)</p> <p>5月:吉田事務局（多摩川）、3月:清野理事（山古志） 2月:天野監事（岡崎）、1月:土井理事（弘前）</p> <p>しかし、次第に内部検討会への参加者が少なくなり、議論やその内容整理の時間が取れない現状が続いている。</p> <p>そこで次年度は、事業全体の優先順位の見直しを行い、プライマー作成を財団全体の最重要事業として位置づけ、検討体制の立て直しをはじめ、プライマー作成の目的やターゲットを明確化し、骨子作成に向けて再始動を行う。</p>

(5) 各事業の振り返り C1多摩川流域プロジェクト

C1多摩川流域プロジェクト

<p>2023年度 7期目標</p>	<p>・個別の課題（世代交代など）を流域全体の課題として位置づけ、各課題に対して流域全体のリソースを活用する</p>	<p>達成度</p>	<p>①水辺の課題整理→川ごみの設定 ②交流企画、水辺会議の実施 ③HP、SNSを通じての活動発信 ・多摩川合宿</p>
<p>活動内容</p>	<p>①水辺の課題・資源の整理と流域全体への再設定 ②水辺の知恵・リソースを交換する機会の創出（干潟交流企画、オンラインシンポ） ③多摩川流域の活動情報発信（HP活用）</p>	<p>2023年度 7期成果と 振り返り</p>	<p>各水辺の活動訪問や活動サポートを継続しながら、多摩川の水辺で活動団体する団体の意見交換会・交流会（2月）を開催。この会議をきっかけとして、定期的な意見交換・交流の場を今後も設定していくことが決まり、エコデモ財団はその取りまとめ役となることも決まった。 今後は「川ごみ」を切り口として、各水辺の課題や取り組み、知恵やリソースを、流域全体のものとして位置づけて、考え、共に行動できる『ゆるやかな多摩川流域のつながり』づくりのために活動を継続させながら、多摩川のネットワークの再活性化を目的として調査研究を実施していく。活動と研究のために、東急財団の研究助成等の申請を行いながら、プロジェクト全体の目的や戦略を整理し、プロジェクトを推進する。</p>

多摩川水辺の活動団体・意見交換会&交流会

◎日時：2023年2月26日（日）13時30分～16時30分

◎場所：二ヶ領せせらぎ館2階会議室

◎当日プログラム：

1. はじめに・開会の挨拶：羽田水辺の楽校（邊見校長）
2. 参加者の自己紹介
3. テーマ説明：川ごみ、ホームレス
・羽田水辺の楽校（岡本さん）
・エコデモ財団（吉田）
4. 各水辺の活動紹介、テーマ関連の意見交換
5. おわりに 多摩川センター（山道先生）
(15時半～「東京湾のワカメを食べる会」)



達成度/成果については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 各事業の振り返り D1エコデモセミナー、D2出版、D3シンポ

D1エコデモセミナー

2023年度 7期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモセミナーの継続（8期10名で実施予定） 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期・8名の参加者、修了者●名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモセミナー8期 2023年5-10月実施 	2023年度 7期成果と 振り返り	<p>前年度は、セミナー8期を開催。今年度はパシフィックリム・コミュニティデザイン会議の開催と合わせて、ランディ先生を招いたエコデモセミナーの集まりを開催（9月、セミナーの生/修了生・13名、学生5名が参加） 今年度は、エコデモセミナー9期を継続開催が主な目標であるが、セミナー参加者の交流や議論の機会を設けながら、エコデモプライマー・日本版エコデモ出版の事業化に向けて、セミナー関係者の巻き込みを図る。</p>

D2エコデモプラットフォーム

2023年度 7期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー生とのネットワーク強化 ・セミナー生の交流や議論プラットフォーム構築 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモラジオ ・セミナー同窓会（ランディ） ・HPバージョンアップ ・東京シンポジウム（パシリム）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●エコデモラジオ ・過去セミナー生を迎えエコデモを語る(全12回) ●セミナー同窓会 ・1~6期セミナー生が再び会える機会（全6回） ●HPバージョンアップ 	2023年度 7期成果と 振り返り	<p>第12回パシフィックリム・コミュニティデザイン会議2023の機会を活かしながら、セミナー修了生・現役生とランディ先生との会議を実施することができた。 次年度以降は、エコデモプライマー、日本版エコデモの出版に注力するため、事業は一時休止。</p>

D3エコデモ出版事業

2023年度 7期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版エコデモ出版に向けた編集会議の立上げ ・同書籍の構成など詳細決定 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議の開催、テーマ設定（未達）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆者の募集と編集会議の開催 ・テーマを設定して原稿を募集。出版に向けた編著者の会議や議論。 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降に注力する事業であるエコデモプライマーの作成と合わせて、日本版エコデモの出版も検討。事業としては一時休止。

(5) 各事業の振り返り D1エコデモセミナー、D2出版、D3シンポ



エコデモセミナー8期
オンラインミーティング



エコデモセミナーf/wランディ
2023年9月19日
@東工大大岡山キャンパス 4F会議室

第12回パシフィックリム・コミュニティデザイン会議2023 at 東京
**エコロジカル・デモクラシー：
人々の心に触れ まちづくりはスケールアップする**

ECOLOGICAL DEMOCRACY FOUNDATION

The structure based on the important places for wilderness in Okayama and Setouchu area (Kan'on Koba, 2021)

**2023
9/20 (水)**
開場 18:00 / プログラム 18:15-21:00 / 懇親会 21:00-21:45

田園調布せらぎ館
東急東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」下車 徒歩1分

参加申込：一般 1,000 円（学生無料）
QRコードからアクセスして Payvent よりお申込下さい。
エコデモ財団 HP からアクセスできます。(9/10まで)

主催：コミュニティ・デザイン国際会議委員会 / (一財) エコロジカル・デモクラシー財団

第12回パシフィックリム・コミュニティデザイン会議2023 at 東京 開催チラシ
「エコロジカル・デモクラシー：人々の心に触れ、まちづくりはスケールアップする」

趣旨
環太平洋諸国のコミュニティデザイナーは、25年前にパシフィックリム・コミュニティデザイン会議を組織し、お互いの経験を共有し、都市の未来を展望する思想を鍛えあってきました。また日本のまちづくりも約40年の経験を蓄積しています。そして地球環境の危機、戦争の危機の時代、まちづくりには新しい役割が求められています。皆で話し合い、地元の大切なものを守り育てるまちづくりの力が、世界を変えるために必要なのです。一方で、環境の公正を求めるコミュニティデザインは、自然と出会い、エコロジカル・デモクラシーを生み出してきました。エコロジカル・デモクラシーの中心には「聖性：Sacredness」があります。聖性は、人々の心に訴えかけ、本当に大切なものを守るまちの力です。まちが人々の心に触れ、世界が変わるために必要なことについて、ランドルフ・T・ヘスター先生と木場佳音さんを迎えて話し合います。

プログラム

18:00 開場
18:15 開会・趣旨説明
18:30 基調講演1 ランドルフ・T・ヘスター先生
「Ecological Democracy in Public Design and Personal Life」
19:30 基調講演2 木場佳音さん
「日々の暮らしがまちを育むとき：まちを通して世界が変わる」
20:00 ディスカッション
登壇：ランドルフ・T・ヘスター先生 × 木場佳音さん
司会：土肥真人
20:30 質疑応答
20:55 閉会 ※21:00～21:45 懇親会

ランドルフ・T・ヘスター先生
カリフォルニア州バークレー校・環境デザイン学科名誉教授。Center for Ecological Democracy 主宰。パシフィックリム・コミュニティデザイン会議創設者のひとり。「コミュニティ・デザイン・プライマー」、エコロジカル・デモクラシーの著者。最近著に「Inhabiting the Sacred」(2019)。

木場佳音さん
「Inhabiting the Sacred」研究会 2021 主宰。大岡山・千束地区まちづくり協議会会員。エコデモラジオ・アシスタント (2022)。「個人の大切な場所が織りなすまちの構造の研究」(2021, 都市計画論文集)

ECOLOGICAL DEMOCRACY FOUNDATION

Randolph T. Hester (2006) "Design for Ecological Democracy" - p112

(参考) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

講演会・イベント

(講演会・イベント)

- ・多摩川水辺の活動団体・意見交換会・交流会
2023年2月26日(日) 13:30-16:30 会場：二ヶ領せせらぎ館 2F会議室
参加者22名(意見交換会のみ・8名、交流会14名。河川管理事務所、自治体、水辺の活動団体から参加)
- ・みんなでつくる！多摩川の未来の風景「未来のカッパたちにわたすたまたがわ」企画展示
2023年5月9-31日 会場：二ヶ領せせらぎ館 協力：NPO法人多摩川エコミュージアム、
- ・みんなでつくる！多摩川の未来の風景「未来のカッパたちにわたすたまたがわ」川ごみ箱庭アート展示
2023年7月1-30日 会場：二ヶ領せせらぎ館 協力：NPO法人多摩川エコミュージアム、全国川ごみネットワーク
- ・たまたがわ138Kmの旅
2023年8月7-9日 協力：みたけレースラフティングクラブ
- ・エコデモセミナー8期 オンラインミーティング実施、2023年5月~現在。
- ・大岡山エコデモまちづくり支援「アクションプラン」
まちづくり協議会ホームページサイト作成 <https://ookayama.wixsite.com/home>
- ・エコデモセミナーf/wランディ(エコデモセミナーの集まり)
2023年9月19日(火) 18:00-20:00 参加者：セミナー生/修了生13名、学生5名
- ・第12回パシフィックリム・コミュニティデザイン会議2023 at 東京
「エコロジカル・デモクラシー：人々の心に触れ、まちづくりはスケールアップする」
2023年9月20日(水) 18:15-21:45
主催：コミュニティデザイン国際会議委員会・エコロジカル・デモクラシー財団
参加者：120名(オンライン登録106名、当日参加者14名) ※現在参加リスト精査中
パシフィックリム国際会議共催

(原稿・論文)

・

(助成金) なし

みんなでつくる！
多摩川の未来の風景

未来のカッパたちに
わたすたまたがわ

2023 企画展示 5.9 [火] ▶▶ 5.31 [水]

会場 二ヶ領せせらぎ館
登戸駅徒歩 8分・宿河原埋手前
月曜日と第一・三水曜日は休館

無料サイトもつくります！
※展示には2D/3D/VR対応のPC・タブレット・スマートフォン・スマートテレビ推奨

主催：NPO法人多摩川エコミュージアム

みんなでつくる！多摩川の未来の風景

未来のカッパたちにわたすたまたがわ
川ごみ箱庭アート展示

2023 3rd 企画展示 7.1 [土]・7.30 [日]

会場 二ヶ領せせらぎ館
登戸駅徒歩 8分・宿河原埋手前
月曜日と第一・三水曜日は休館

アクセス

主催：NPO法人多摩川エコミュージアム

第12回パシフィックリム・コミュニティデザイン会議2023 at 東京
エコロジカル・デモクラシー：
人々の心に触れ まちづくりはスケールアップする

2023
9/20 (水)

開場 18:00 / プログラム 18:15~21:00 / 懇親会 21:00~21:45

田園調布せせらぎ館
東急東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」下車 徒歩 1分

参加申込：一般 1,000円(学生無料)
QRコードからアクセスして Payvent よりお申込下さい。
エコデモ財団 HP からアクセスできます。(9/10まで)

主催：コミュニティデザイン国際会議委員会(一財)エコロジカル・デモクラシー財団

趣旨

環太平洋諸国のコミュニティデザイナーは、25年前にパシフィックリム・コミュニティデザイン会議を組織し、お互いの経験を共有し、都市の未来を展望する意思を醸成してきました。また日本のまちづくりも約40年の経験を重ねています。そして地球環境の危機、戦争の危機の時代、まちづくりには新しい役割が求められています。皆で話し合い、地元の大切なものを守り育てるまちづくりの力が、世界を変えるために必要なのです。

一方で、環境的公正を求めるコミュニティデザインは、自然と出会い、エコロジカル・デモクラシーを生み出してきました。エコロジカル・デモクラシーの心は「聖性(Sacredness)」があります。聖性は、人々の心に訴えかけ、本当に大切なものを守るまちの方です。まちが人々の心に触れ、世界が変わるために必要なことについて、ランドルフ・T・ハスター先生と木場佳音さんを迎えて話し合います。

プログラム

18:00 開場
18:15 開会・趣意説明
18:30 基調講演1 ランドルフ・T・ハスター先生
[Ecological Democracy in Public Design and Personal Life]
19:30 基調講演2 木場佳音さん
[日々の暮らしがまちを育むとき：まちを通して世界が変わる]
20:00 ディスカッション
登壇：ランドルフ・T・ハスター先生 × 木場佳音さん
司会：土肥真人
20:30 質疑応答
20:55 閉会 ※21:00~21:45 懇親会

ランドルフ・T・ハスター先生 木場佳音さん

カリフォルニア州パークレー校・環境デザイン学科名譽教授、Center for Ecological Democracy 主宰、パシフィックリム・コミュニティデザイン会議創設者のひとり。「コミュニティ・デザイン・ブライマー」。「エコロジカル・デモクラシー」の著者。最近著に『Inhabiting the Sacred』(2019)。

「Inhabiting the Sacred」研究会 2021 主宰。大岡山・平塚地区まちづくり協議会会長。エコセラジオ・アシスタント(2022)。「他人の大切な場所が織りなすまちの構造の研究」(2021、都市計画論文集)。

主催：コミュニティデザイン国際会議委員会(一財)エコロジカル・デモクラシー財団